



承諾書

1. 本報告書の対象：本報告書の内容は、対象建物の検査時点の状況を基に整理しているため、その後の時間経過による状況変化がないことを約束するものではありません。
2. 本報告書の範囲：本報告書の検査・診断は、特殊な器具を用いずに確認できる範囲について、目視・打診・触診による非破壊検査の結果を基に行っています。そのため①～④の範囲は、検査・診断の範囲外になります。
 - ① 対象建物に点検口などがなく、検査項目が確認できない範囲
 - ② 対象木部が仕上げ材などで覆われており、直接検査診断できない範囲
 - ③ 検査の障害になる配線や設置物などがあり、対象木部に接近できない範囲
 - ④ その他、「蟻害・腐朽検査士診断マニュアル」で検査項目にない構造・部位の範囲
3. 検査診断結果の取り扱い：本報告書の内容のうち、被害地域や生息状況等のデータ（学術データ）は研究目的で利用することがあります。データの利用においては、物件情報のうち個人情報が特定されうる町名以下の住所やご依頼主の氏名などの個人情報は削除することで、個人情報の取り扱いに最大限留意します。学術データ利用者は研究機関に所属する協会関係者とし、商用での利用及び二次使用がされることが無いよう利用目的を事前に確認したうえで提供します。

以上の事項について説明を受け、承諾しました。

日 付 _____ 年 月 日

署 名 (自筆) _____